

日に日に進歩する医学・医療の知識と技術。一方、少子高齢化が進む社会における保健医療への関心は高まる一方です。それだけ医学・医療に関する情報知識を利用者である消費者に理解できるように伝える医学・医療・保健にかかわるコミュニケーションの社会的重要性は高まっています。

医学・医療情報の伝達は、新聞雑誌やテレビ・ラジオなどの商業的なメディアだけではなく、行政当局や医療機関による消費者向け情報サービス、保健医療関連団体や企業が提供する広報誌や視聴覚DVD・ウェブサイトなど、あらゆる媒体を介して行われます。しかし、そこにはいまだ「医学・医療ジャーナリズム」という職能領域も概念も確立されていないのが実情です。さまざまな情報媒体を介して伝達される医学・医療情報が受け手に及ぼす影響力の大きさを考えると、そのプロセスにかかわる人々の責任はきわめて重要です。そこで当協会は、上に述べた実状のもとで可能な範囲の学習をしていただくために、昨年、当協会の幹部を中心として医学・医療情報の伝達に携わってきた先達が経験から得た教訓をもとに、受講者の皆さんと共にあるべき医学・医療ジャーナリズムの姿を探ることを主眼にした第一期「医療ジャーナリスト基礎講座」を開講しましたが、講師陣も新たに第二期の講座を本年度も開設することにしました。

この講座は、職種職名を問わず医学・医療に関する知識情報の伝達と受け手の理解を左右する仕事にたずさわる方々のご参加を得て、医学・医療ジャーナリストとしての責務と自覚を講師と共有していただければと考えて設定したものです。皆様の参加が本講座を充実したものにす糧となり、その成果は当協会と参加の皆さままで分かち合えるものになるはずです。ぜひ奮ってご参加下さいませようお願いいたします。

2008年8月

NPO 法人 日本医学ジャーナリスト協会

講座の概要

- 開催日： 2008年9月30日～12月16日 毎週・火曜日
 時間： 午後6時30分～午後8時30分（約2時間）
 場所： 日本記者クラブ9階 大会議室（地図参照）
 募集人員： 30名（予定）
 受講料： 1人1回・3,000円×12回＝36,000円
 （12回通し一括払いでお申し込みの場合は30,000円）

受講者募集の対象

- 一般メディア・医療専門紙誌で記者・編集者を志望する方
- 医療関連団体・企業の広報部門担当者（主に新任者）
- 広告・広報代理店で医学・医療関係業務を担当する方
- 保健医療機関の事務総務系勤務の方
- 医学・薬学・看護系の学生、など



（社）日本記者クラブ
 日本プレスセンタービル9階
 東京都千代田区内幸町2-2-1
 電話：03-3503-2721
 FAX：03-3593-6233
 東京メトロ 千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅 C4
 東京メトロ 丸ノ内線 霞ヶ関駅 B2
 都営三田線 内幸町駅 A7



講師及び講座内容（予定） [毎週火曜日 午後6時30分～8時30分]

- 第1回（9月30日） 大熊由紀子 「医療と福祉の切っても切れない深い縁 ～世界の試み・日本の挑戦～」
元朝日新聞論説委員、現在、国際医療福祉大学大学院教授
- 第2回（10月7日） 宮田親平 「医学用語について」
元週刊文春編集長、現在、科学・医学ジャーナリスト
- 第3回（10月14日） 水巻中正 「医療崩壊から医療新生へ」
元読売新聞社会保障部長、現在、国際医療福祉大学大学院教授
- 第4回（10月21日） 尾崎雄 「市民社会と医療政策」
元日本経済新聞編集委員、現在、AID（老・病・死を考える会）世話人
- 第5回（10月28日） 高山美治 「医療情報の意味～健康雑誌編集長15年の経験をすべてお話しします」
元毎日ライフ・JAMA日本語版編集長（毎日新聞社）、現在、医学記者（フリー）
- 第6回（11月4日） 丸木一成 「利用者の視点から、医療情報の質を考える」
元読売新聞医療情報部長、現在、国際医療福祉大学大学院教授
- 第7回（11月11日） 穴澤鉄男 「地方紙における医療問題への取り組み」
元河北新報社編集局審査部長、現在、編集工房まんさく+地域創造研究所主宰
- 第8回（11月18日） 鈴木紀郎 「医療情報と放送メディア」
元NHKエデュケーショナル エグゼクティブプロデューサー 現在フリー プロデューサー
- 第9回（11月25日） 黒岩祐治 「白衣の天使か？3K職場か？～看護問題にメディアはいかに向き合うべきか？」
フジテレビ報道局解説委員、「報道2001」キャスター
- 第10回（12月2日） 小川明 「地方と中央の落差 ～通信社の医療取材経験を語る～」
共同通信編集委員・論説委員
- 第11回（12月9日） 高山千弘 「製薬企業のヘルスコミュニケーション」
エーザイ株式会社知創部部长
- 第12回（12月16日） 松井寿一 「くすりの歴史-過去・現在・未来」
元薬業時報社取締役編集局長、現在、イナホ主宰

* 講師及び講座内容は、都合により変更になることがありますので、ご了承ください。

お申込み方法

参加ご希望の方は、必要事項（住所、氏名、連絡先電話番号あるいはメールアドレス）と「講座参加希望」とご記入の上、FAXで協会事務局までお申し込みください（FAX番号：03-5561-2912）。お申し込みの方に、請求書をお送りしますので、参加費をお振込みください。入金を確認次第、事務局より、受講票をお送りいたします。当日は受講票を会場受付でお示しください。原則として前払い、予約制ですが、空きがある場合は、当日のみの参加も可能です。その場合は、事前に予約し、当日、受付にて受講料をお支払いください。

< 本件に関する詳細なお問い合わせは、事務局：古阪（ふるさか）までお願いします。 >
特定非営利活動法人（NPO）日本医学ジャーナリスト協会 事務局
〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目8番10号 株式会社コスモ・ピーアール内
TEL: 03-5561-2911 FAX: 03-5561-2912 www.meja.jp